

令和2年度足立区総合交通計画推進会議(書面開催)での主な意見

(1) 実施事業の進捗状況(令和元年度)について

No.	寄せられた意見の概要	区の考え方
1) 混雑緩和対策(日暮里・舎人ライナー、つくばエクスプレス)に関すること		
1	<p>つくばエクスプレスに関して、東京都の時差Bizキャンペーンへ参加することにより、都内の鉄道事業者が一体となったキャンペーンを展開している。そのため、当社単独でのキャンペーンは行っていないものの、オフピーク通勤を促進するキャンペーンは実施している。新型コロナウイルス感染症の影響と、当社の混雑緩和対策の取組により、現在は相当程度混雑は緩和されている一方、旅客収入が激減し、経営状況が厳しい状況にある。こうした情勢変化を計画に反映する必要があると考える。少なくとも、キャンペーン実施について柔軟な解釈を可能とする取扱いを要望する。</p> <p>(鉄道事業者)</p>	<p>単独で行うキャンペーンだけではなく、鉄道事業者が一体となって行うキャンペーンも事業の実績として含めていくことを今後検討してまいります。</p> <p>また、新型コロナウイルスの感染拡大による鉄道の利用者減少などの社会情勢の変化を鑑み、キャンペーンについて様々な視点で評価していきたいと考えております。</p>

2) 踏切解消(竹ノ塚駅、北千住駅)に関すること

2	<p>鉄道関係においての「踏切解消」については、「北千住の立体交差化」は、多年の課題であり、ひたすらの念願であるので、難題を克服し実現に向けての検討を引き続きお願いする。</p> <p>(住民または利用者)</p>	<p>鉄道と道路の立体交差化については、引き続き検討してまいります。</p>
---	---	--

3) ホームドア設置等バリアフリー化に関すること

3	<p>東武スカイツリーラインではホームドア設置の予定はいつか。</p> <p>(住民または利用者)</p>	<p>北千住駅の3階ホームについては、令和3年3月にホームドアを設置いたしました。その他については区としても今後、鉄道事業者による設置が進むよう協議してまいります。</p>
---	---	--

No.	寄せられた意見の概要	区の考え方
4) 拠点間バス路線等の維持・強化、交通不便地域のバス路線導入に関すること		
4	「拠点間バス路線等の維持・強化」と「交通不便地域のバス路線導入」の事業施策について、事業同士が両方良しとなるよう工夫ができるように事業指標が位置付けられ、評価、見直しできるようにして頂きたい。 (区議会議員)	現在、花畑地域で進めている「交通不便地域のバス路線導入」検討については、既存のバスルートができるだけ通過しないようルートを検討しております。また、今後の交通不便を解消するバス路線等の導入検討に際しては、拠点間バス路線の新設など変化の状況も十分勘案しながら、検討を進めていくとともに、評価にあたっては各事業間の連携を考慮の上、進めてまいります。
5) バス停の利用環境整備に関すること		
5	A-2-④「はるかぜ」のバス停R1から3か年で点字75箇所目標のところ実績は17箇所と1年平均(単純計算すると)の25箇所には達成していないことにはならないのか。 (区議会議員)	点字ブロックについては、1年で25箇所設置するのではなく、3年で75箇所設置を目標としております。元年度は17箇所という実績となりましたが、3年で75箇所設置という目標達成に向け、引き続き進めてまいります。
6) ユニバーサルデザインタクシーの導入に関すること		
6	ユニバーサルデザインのタクシーの台数は目標達成であるが、これからも増車していく予定か。 (住民または利用者)	ユニバーサルデザインタクシーについては、台数を達成した元年度以降も継続導入に向けてタクシー事業者と調整してまいります。
7	タクシーのバリアフリー化はかなり進行していると感じるので、さらなるバリアフリー化を期待したい。 (住民または利用者)	引き続き、更なるユニバーサルデザインタクシーの導入に向けてタクシー事業者と調整してまいります。
7) 自転車駐車場の整備に関すること		
8	B-②自転車駐車場の整備は、補助制度が活用に至らなかった原因をどのように分析しているか。 (区議会議員)	自転車駐車場の整備については、特に設置需要が高い地域ほど整備に適した用地の不足が背景にあり、制度の活用に至らなかったものと分析しております。
9	自転車駐車場の整備については、使い易い補助制度にして頂き、実施をして頂きたい。 (区議会議員)	補助制度の条件を見直すなど、事業を検討される方にとって、利用しやすい制度となるよう検討してまいります。

No.	寄せられた意見の概要	区の考え方
8) 自転車シェアリングの拡充に関すること		
10	自転車シェアリングの拡充について、人気が高い。返却場所の予約を入れようとしても、予約がいっぱいとなり、なかなか予約も取りづらくなっている。こういう人気を支える施策となしてほしい。 (区議会議員)	今後も、シェアサイクルの利便性を高められるよう、ポートの拡充等おこなってまいります。
11	自転車のシェアリングの拡充を期待する。 (住民または利用者)	シェアサイクルの利便性を高められるようポートの拡充等を行ってまいります。

9) 放置自転車対策に関すること		
12	「自転車施策」においての「放置自転車対策」については、この程、足立区の治安改善が大きく進み、自転車盗防止の面でも、その改善が図られたことは大変喜ばしい事である。自転車の施錠周知等放置自転車対策の一層の促進をお願いする。 (住民または利用者)	令和元年度においては、新たに4カ所の自転車無料引き取り場所を追加したことや自転車の施錠の周知など、積極的に放置自転車対策を取り組んでまいりました。今後も、放置自転車の更なる削減に向けて、継続して取り組んでまいります。

10) 交通安全教育に関すること		
13	交通安全教育について大人向けの交通安全講話、ポスター等、多くの実施を希望する(子供を乗せての安全な乗り方を指導してほしい)。 (住民または利用者)	子育てサロンでの交通安全講話や保育園等での交通安全教室の際に保護者の方に参加していただき、大人の方に対しても安全な自転車の乗り方等について周知・啓発していきます。また、SNSによる交通安全の各種情報発信や自転車教室の動画配信などを活用し、積極的に交通安全教育に取り組んでまいります。

11) バス利用者へのサービス向上に関すること		
14	ICカード定期券、乗り継ぎ割引導入ともに、未導入の事業者すべて導入検討を行ったとの理解でよいか。 (区議会議員)	ICカード定期券、乗り継ぎ割引導入ともに、未導入の事業者はすべて導入検討しております。

(2) その他の意見

No.	寄せられた意見の概要	区の考え方
15	今後、2050年ゼロエミッションを目指す我が国の方針に対して、足立区で貢献すべき交通セクターでの方向の議論が必要になると思う。 (学識経験者)	足立区は令和3年3月に2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す取り組みとして、足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言を行いました。今後、公共交通の部門における役割等についても、区役所内環境部と連携して検討してまいります。
16	計画書の「事業番号D-③バス位置情報の提供」の備考に、導入事業者の記載があるが、当社(朝日自動車)も2019年12月にバスロケーションシステムを導入したので、追記をお願いしたい。 (バス事業者)	追加の実績については、次回の足立区総合交通計画推進会議にてご報告いたします。
17	花畑地域の検証運行が始まるがバスネットワークの強化を考えるのも大切だが、区としての「公共交通」の定義を考察する時期に来ていると考える。 (区議会議員)	今後は、区としても変化のスピードの速い社会情勢や、交通を取り巻く環境の変化などを注視しながら、区民生活にとってどのような交通手段を公共交通の役割として確保していくべきか、計画への反映も視野に入れて検討を行い、各事業を進めてまいります。